水泳に替わる教育活動や生徒の

安全・体力向上に資する取組についてのご提案

意見聴取：令和８年５月 12 日（火）～令和８年５月 25 日（月）
対象者　：市立小学校６年生～中学校３年生の保護者及び児童生徒
聴取方法：電話、二次元コードからの提出
意見件数：21 件

＜代替の提案＞

- 最近は猛暑で学校プールでの授業も心配でした。熱中症の危険もあり夏場は特に運動量も減っていたので、空調設備が整った体育館で思い切り体を動かして体力づくりをしてほしいです。
- ３中学校でプール授業の廃止は致し方ないと感じます。小学校のうちに必要な技術を身につけ、中学校以降は琵琶湖などの水辺を活用した体験学習(ライフジャケットを使った活動)などでも良いかと思われます。中学校では泳法を学ぶのではなく、命を具体的に守るような特別授業などはいかかでしょうか？
- この猛暑で、先生方や子供達も大変な思いをしていると思います。来年度から水泳中止は、賛成します。ダンスは、どうですか？
- ダンス、スキー教室、ヨガ
- 水泳授業が全くなくなるのはあまり好ましくありません。各年でも構いませんので、野洲市のプールを使用して、季節は問わず授業をしていただきたいです。

＜水泳授業の必要性＞

- 水泳は行った方がいいと思います。これに替わる授業はないです。泳げない子がさらに増えると思います。
- 陸上の活動では、水泳の替わりはできません。琵琶湖など水上レジャーなども抱える当市において水泳教育廃止ではなく維持するよう知恵をしぼるのが行政の仕事であり安易に廃止するのは業務の放棄に等しい。
- 替わる取組などあるはずが無いです。本当にあると考えていますか？
  近隣のプール施設にて継続すべきです。温水プールであれば夏季でなくとも実施可能なので継続する工夫を検討下さい。

・小学６年生です。今まで５年間の水泳授業を休まず全て受けましたが自力で泳げないままです。先生からの指導はなく、泳げる生徒からコツを教えてもらうだけの時間だったと聞いています。適切な指導を実施いただき、せめて、クロール・バタ足で泳げるよう指導していただきたいです。今年（６年生）の水泳授業で泳げるように指導していただけるのでしょうか？泳力は水難事故から身を守るのに必要なものです。座学でなんとかなるものではありません。
・災害時や緊急時に備えた着衣水泳の授業は、民間施設を活用するなどして、実施してほしいです。
・水泳は体力向上だけでなく、命を守るための技能を学ぶ機会でもあるため、完全廃止ではなく、安全教育や水辺活動に関する学習機会として、継続していただけるようご検討願います。
・近年は川や海での事故だけでなく、豪雨や水害など、水に関わる危険に遭遇する可能性もあります。その時に、水を怖がらず落ち着いて行動する経験や、浮く・呼吸を確保するなどの基本的な知識は、子どもたちの命を守る力につながると思います。
また、中学校での水泳授業は、すべての家庭が習い事として水泳を経験できるわけではない中で、子どもたちが平等に水に触れ、安全について学べる大切な機会でもあります。
施設維持が難しいのであれば、近隣施設の活用や、着衣泳・水難事故対応講習など、形を変えてでも「命を守る学び」を残していただけないか、ぜひ検討していただきたいです。

＜その他＞

・水泳授業の廃止について、賛成である。今年度も廃止にならないのか。昨年度から更衣室やプールが不衛生で、子どもがプールに入りたくないと言っていた。最近までスイミングクラブに通っていたので、水泳が苦手なわけではない。学校の水泳の授業はもうなくてもよいのではと思っていた。近年の気候の変化、暑くて外での活動が難しいこと。守山でも昨年度やけどの事件もあった。学校の先生方もプールの管理が大変なのではないか。など、昔からの継続で行うのではなく、今の時代にあったことをしていけばいいのではないかと思う。
・今年から中止、または希望制にして下さい。なぜ来年からは中止で、今年は実施するのですか？なぜ今年は安全と言い切れるのですか？再考願います。
・拙速ではないでしょうか？近隣のサンネスなどでの授業などに変更するなど知恵をお絞り下さい。あ～、そうですかとはなりません。
・本当に議論を尽くしているのでしょうか？唐突に廃止となったように思います。他にお金を回したら足りませんでした。じゃあ廃止。ですか？あり得ないでしょう。再考下さい。
・水泳授業がなくなることに関して非常に残念に思います。疑問点を数点お伝えさせていただきます。

①昨年は、気温や水温が高すぎることにより、水泳授業は中止されませんでした。何を、どこを基準に実施が難しいと判断されたのでしょうか。現場教員の判断とズレがあるように思います。

②空調設備への投資ありがとうございます。しかしながら、空調設備を拡充するために、教育活動から予算を捻出するのはいかがなものかと思います。私は非常変災時の防災拠点としての空調設備設置と理解していました。その副次的なものとして、子どもたちが涼しい環境の中で学習できる機会が増えると考えておりました。野洲北中学校と中主中学校のプールのランニングコストを抑えることによって市内全小中学校への空調設備設置に関するコストを補うとは到底考えられません。本来的には危機管理の視点から予算立てをする必要性があるのではないかと思います。

③代替案を検討していくと書かれていますが、これは現場の先生方が考えられるのでしょうか。プールの活動があれば、生み出す必要のないものになります。取り上げられて考えなさいでは、あまりには日頃頑張ってくださる現場の先生が不憫でなりません。市として代替え活動プランやその予算をつけることによって、その負担感は減るのではないかと思います。

④小学生しかプール活動がないことで、より一層泳げない人が生まれるのではないかと危惧しております。スイミングスクールに連れて行くことのできる時間とお金のあるご家庭にはなんら問題ないかと思いますが、そうでないご家庭もあるかと思います。教育格差ではありませんが、この市としての方針が拍車をかけることにつながると考えます。現在の部活動地域展開も同様ですが、これまであったものがなくなることによって困る人もいると思います。今までは現場の先生が、自分の時間を省みず、様々ことをほぼ無償で支えてくださっていたことには頭が上がりません。水泳活動、部活動ともになくなるのであれば、その点をなにか市として保障することも必要ではないでしょうか。このような意見を感じている者もいることをご理解ください。野洲市がよりよくなるように祈っております。